

選手の皆さんへ

1 ディレクター（八尋）携帯 090-9591-0351

2 試合方法等について

- (1) 1回戦～準決勝、順位決定戦は、1セットマッチ（6ゲームオール・タイブレーク）で行う。
決勝は、8ゲームプロセットマッチ（8ゲームオール・タイブレーク）で行う。
- (2) 試合球は、ダンロップフォート（イエロー）とし、本部で準備する。
- (3) 服装は、清潔で礼儀正しい習慣的に認められているテニスウェアとする。
高校生においては、ゼッケンの着用を励行する。
- (4) 20秒ルール、90秒ルールを守ること。
- (5) シングルスは8位まで、ダブルスは4位までの順位決定戦を行う。
- (6) 表彰は、全種目4位まで行う。
- (7) 九州ジュニアテニス選手権大会の要項と申込用紙を、全種目4位以内の選手に配付する。

3 試合進行について

- (1) 8時40分までに選手本人が（ダブルスの場合は2人揃って）各会場本部に出席を届ける。
事故等の特別な事情による連絡がない限り、試合開始に遅れた選手は原則として棄権とする。
- (2) 選手変更は認めない。棄権選手の代わりのオープン参加（1試合のみで勝ち上がれない）は認める。
- (3) 進行は、オーダー・オブ・プレー（試合進行表）により行う。
- (4) 控えに入ったら、若番の選手は各会場本部にボールを取りに来る。
前の試合終了後、直ちにコートへ入る。コート入場の遅れには、ペナルティを課すことがある。
- (5) 試合前のウォームアップは、原則としてサーブ3本のみとする。
- (6) 勝者は、試合終了後すぐに本部に結果を報告すること。
- (7) 敗者は、使用ボールを持ち帰り、18歳以下の部の場合はコートに残って次の試合の審判を行う。

4 審判について

- (1) 16歳以下の部は、原則として大会補助員の高校生による審判を配置して行う。
高校生による審判を配置できない場合は、セルフジャッジで行う。
- (2) 18歳以下の部は、原則として敗者審判制で行う。
各コート1巡目はセルフジャッジとする。
準決勝・決勝・順位決定戦等については、大会本部の指示に従うこと。
- (3) 審判は、自信を持ってジャッジを行い、はっきりとコールし、審判用紙への記入を行う。
- (4) セルフジャッジで試合を行う場合は、以下の「セルフジャッジ5原則」に則って行う。
 - ①判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
 - ②「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
 - ③サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
 - ④ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
 - ⑤コートの外の人には、セルフジャッジへの口出しはしない！

5 応援等について

- (1) 選手へのアドバイス、相手への言動、審判のジャッジに対するクレームをしてはならない。
- (2) 選手がレディポジションについて以降のインプレー中には、声を出すことや身体を動かすこと、勝手なジャッジをしてはならない。
- (3) シングルの試合に限り、選手1名につきボールパーソン1名を認める。
ボールパーソンは、選手へのアドバイスや応援、拍手をすることはできない。
※速やかな大会運営の為に、ボールパーソン配置の協力をお願いします。

6 その他

- (1) 荒天や試合の遅延等による中断、コートや会場の変更については、本部の指示に従うこと。
- (2) 各会場において、認められた場所以外でのボールを使った練習を禁止する。
- (3) 各会場において、ゴミを散らさず、出したゴミは必ず持ち帰ること。
- (4) 各会場において、所定の場所に駐輪・駐車し、他の妨げとならないようにする。
- (5) 貴重品や携行品は、各自で責任を持って保管すること。

各校顧問の先生方へ

3月14日（土）10：30～パークドーム会議室において、高校顧問先生方の監督会議を行います。
各高校の顧問の先生は必ずご参加下さい。
会議内容につきましては、別添の監督（顧問）会議資料を参照して下さい。